

明らかにされた
神武以前

日本民族！その源流と潜在意識

山本健造 著



邪馬台国はなかった。
倭人伝の原本の邪馬臺国の臺が写本では台になっ
ているのを、古代の発音を知らぬ新井白石が邪馬台
国と読み誤った。臺を臺と誤読し邪馬臺国と読む
人までいる。
邪馬タイも邪馬イチも誤読が招いた幻の国名である。
九州は奈良ヤマト国の分家でありヤマト国と
いっていた。

目次

まえがきにかえて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 飛驒の日抱宮 <small>ひだまのみや</small> について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
飛驒の語部 <small>かたりべ</small> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
皇室や高天原 <small>たかまがはら</small> の爆弾的新宣言・・・・・・・・・・・・・・・・	34
素朴な風土に伝わる昔話 <small>むかしはなし</small> ・・・・・・・・・・・・・・・・	37
米のない山奥の生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
米一粒しかない極貧 <small>ごくひん</small> の子も立派 <small>りっぱ</small> に成長した・・・・・・・・	38
シバタ <small>（助兵衛）</small> 、ムンド <small>（ごめんください）</small> の言語・・・・・・・・	39
嬢 <small>かか</small> のほびき <small>（くじ引き）</small> のある部落・・・・・・・・・・・・・・・・	41
原始社会に生まれた神社がここにある・・・・・・・・・・・・・・・・	42
忘れられた日抱 <small>ひだま</small> の御魂鎮め <small>みたましず</small> の神事・・・・・・・・	43
日抱 <small>ひだま</small> が飛驒 <small>ひだ</small> に変わった神社の額 <small>がく</small> の意味するもの・・・・・・・・	45
飛驒 <small>ひだ</small> の名の起り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
板殿仙人 <small>いたんせんにん</small> の故里 <small>ふるさと</small> に日抱宮あり・・・・・・・・・・・・・・・・	48

2 日本のルーツ、高天原は飛驒にある

老翁から太古の物語を託される……………50

神通現象が縁になって……………50

透視や予言的透視の力を持つ者なら信じられる……………52

日本国土と民族の未来を透視して対策をたてる……………53

白髪老翁の話について裏付調査で実証を固める……………54

郷土を開いた先祖が氏神である……………57

愛と感謝の皇室のルーツは飛驒である……………57

天照大神は九州邪馬臺国の卑弥呼ではない……………58

3 二十億年前の飛驒の大地……………60

飛驒片麻岩の隆起……………60

日本における原始生命発生地は飛驒である……………62

世界最古の人類はどこにいたか……………63

原日本人は日本にいた……………64

日本最古の飛驒新人……………67

気温低下と飛驒新人の移動と日本人の故里……………70

4	老翁の語った外来民族と大和民族の衝突……………	72
	クマ民族とソオ民族の渡来……………	72
	山幸と海幸の戦いと仲裁……………	72
	八岐の大蛇退治のオロチは大陸のオロチ族だ……………	73
5	意富加羅國の王子来襲の予言……………	75
	天孫を各地に降臨された……………	75
	新羅王子の日本占領の計画……………	77
	新羅軍侵入の阻止……………	78
	各地に残る実証の裏付け……………	79
	『日本書紀』に出てくる資料……………	80
	『日本書紀』より帰結するもの……………	82
	若狭の織田神社と天孫族……………	83
	琵琶湖畔の天孫族について……………	84
	飛騨政権の連絡網……………	86
	天孫族が九州に残した確証……………	86
	天孫族と言語の問題について……………	87

- 飛驒の語部の口述……………115
- 淡山（乗鞍岳）のふもとで生命が生まれた……………89
- 大淡上方様、飛驒を固める……………90
- 日抱の御魂鎮めが祖国を守った……………93
- 三韓征伐のとき現れた飛驒淡郷にいます先祖……………96
- 日抱淡郷から飛驒の宮村へ都を遷す……………99
- 淡山のふもとに分家を残す……………102
- 淡上方様海岸を守らせる……………104
- 大神通力者天照大神（ヒルメムチ）現れる……………106
- 大和遷都の方針決まる……………108
- 出雲と高天原の状勢険悪となる……………109
- 飛驒の本家へ出雲を譲る……………110
- 邇々芸命九州へ発つ……………112
- 皇統家は征服者ではなく大和民族の総本家だ……………114
- 老翁の家に伝わる淡上方様の御遺言……………115

7	飛驒高天原説の根拠 <small>ひだたかまがはら こんきよ</small> ……………	119
	高天原についての諸説……………	119
	飛驒高天原説の科学性について……………	121
	飛驒高天原を証明する『古事記』……………	122
	天安川原はどこか……………	126
8	飛驒の先祖が日本の大計を立つ <small>たいけい た</small> ……………	130
	天孫を各地に降臨させる <small>てんそん こうりん</small> ……………	130
	各地で皇統命が帰って来るのを待つ天孫たち <small>スヌマコト</small> ……………	132
	同族の身分証明としての十種の宝物 <small>とくさ たかぢもの</small> ……………	134
9	出雲神話を科学する <small>いずもしんわ</small> ……………	136
	『古事記』の原文（現代語訳）……………	136
	八岐の大蛇退治 <small>やまた おろちたかじ</small> ……………	136

八岐の大蛇やまたのおろちとは大陸から来た製鉄男だ……………
草薙くさなぎの剣とは何か……………
140 138

10 天照大神アマテラスオオミカミ（ヒルメムチ）と素戔嗚命スサノノミコトは果たして夫婦か……………
141

素戔嗚命スサノノミコトは母の生まれた出雲いづみに行く……………
141

国生くにうみとは何か?……………
143

天照大神アマテラスオオミカミ（ヒルメムチ）と素戔嗚命スサノノミコトは姉弟だ……………
144

天照大神アマテラスオオミカミには正しい夫があった……………
145

天照大神アマテラスオオミカミは卑弥呼ヒミヤでもなく神功皇后ウツクウこうごうでもない……………
146

11 天照大神アマテラスオオミカミ（ヒルメムチ）と素戔嗚命スサノノミコトは夫婦でなく姉弟である証明……………
147

天照大神アマテラスオオミカミを素戔嗚命スサノノミコトの現地妻現地妻という説の誤り……………
147

『古事記』の姉弟の子生みの誓いとは何か……………
148

一度に八人の子を生んだ契約うけいとは何か……………
150

12	オオクニミシノミコト 大国主命と須勢理姫の結婚と本妻 タキリヒメ 多紀理姫の蒸発……………153 クマノクスヒノミコト 熊野久須毘命の突然死……………153 タキリヒメ 多紀理姫の悲しい蒸発……………154 女たらしへの忠告の『古事記』原文……………155 高天原と出雲 <small>いすぢ</small> の空気 <small>くわい</small> 險悪 <small>けんあく</small> となる……………157 女の人権 <small>じゆうけん</small> を蹂躪 <small>じゆうりつ</small> した古代の男……………158 不品行 <small>ふかぎん</small> が招いた若彦事件……………160 アメノワカヒコ 天若彦反逆事件の真相……………161 『古事記』原文（現代語訳）……………161 はじ <small>か</small> 恥を隠して <small>かく</small> ばかした温かい『古事記』……………166 ヤシナナキメ 稚名鳴女の故里 <small>ふるさと</small> について……………168 くにのり 国譲りの真相は大国主命 <small>オオクニミシノミコト</small> の女問題……………170 アメノワカヒコ 天若彦の反逆の心理……………171
----	---

飛驒高天原の有力な確証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・172

加茂とは継子ままこという古代語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・174

八咫鳥は阿遲志貴命アスキノミコト（加茂命カモノミコト）とその子孫である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・175

大矢田神社の八咫やたについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178

14 飛驒にいた稗田阿礼ヒダノアレイと飛驒にあった古代文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181

国譲りくによすは本来にあった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181

高天原は数十力所もあった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181

稗田阿礼ヒダノアレイの家も子孫も現に飛驒に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・182

『古事記』以前に文字があった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・183

15 国譲り事件の『古事記』原文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・184

高天原の会議の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・184

国譲りの談判・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・185

諏訪神社の由来・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・186

	出雲大社の興り……………	187
	命を捨てるか国を手放すか、和の美に輝く出雲大社……………	189
16	天孫降臨とは何か……………	193
	邇々芸命に降臨の御命令出る……………	193
	猿田彦命が八岐にお迎えする……………	194
	鏡と思兼命は伊勢の内宮に祭られる……………	195
	邇々芸命が串触嶽においでになる……………	196
	猿田彦命と宇受売命は夫婦となる……………	196
17	皇統命はどんな道を降臨されたか……………	198
	飛騨民族の移動と瀬戸内海……………	198
	三姫が航海安全の神と祭られる理由……………	199
	『古事記』の八岐とは岐阜である……………	200

- スメラミコト
皇統命は飛驒を出発された……………201
- ナサカ
鈴鹿の椿大社はすばらしい証拠……………202
- ツチノキミ
椿大社のストーンサークルは土公命の墓……………203
- スメラミコト
皇統命の邇々芸命は外国人ではない……………205
- コノハナサケヤヒメ
木花咲耶姫は薩摩の大山祇命の子ではない……………207
- 『古事記』原文（現代語訳）への疑問……………207
- 日本の昔話の型について……………208
- はやとてく
隼人族と山の族の戦争仲裁……………209
- トコタマヒメ
豊玉姫と火遠理命の子は鵜萱葺不命ではない……………210
- ニニギノミコト
邇々芸命の孫が神武天皇である……………212
- わに
大鰐の子は鵜萱葺不命でない……………213
- ふぜんふどき
『豊前風土記』による皇孫邇々芸命上陸地の証明……………214
- 言語学から日本古代を推理する……………215

大三島の大山祇命と飛驒の口碑	19
大山祇命の身元探し	219
大三島の大山祇命と薩摩の塩土翁とを混同した『古事記』	220
邪馬タイ国は存在しない	223
新井白石ヤマタイと読み誤る	223
『魏志倭人伝』の内容について	224
宋に使いを出した五帝は近畿のヤマトである	224
神武天皇は二千年前に実在された	225
神武東遷後の九州はどうなったか	226
九州の邪馬臺国の場所は今のところ分からない	227
『魏志倭人伝』による古代日本人の風俗	228
史書による古代日本の国土	231
天照大神（ヒルメムチ）の予言と出雲国譲りの目的	232

九州方面の不戦の統一成就の皇統命スメラミコト……………

九州の邪馬臺国ヤマトコクは近畿のヤマト国の分家であった……………

21 天照大神アマテラスオオミカミ（ヒルメムチ）は卑弥呼ヒミコではない……………237

天照大神アマテラスオオミカミは一人の夫があつた……………237

天照大神アマテラスオオミカミと卑弥呼ヒミコの比較……………237

精神科学上から見た天照大神アマテラスオオミカミ……………239

22 出雲神道いずもを科学する……………241

本家すなおに素直すなおに奉仕した出雲政権……………241

色気グアイと大黒恵比寿オホクワエビスに汚染おせんされた宗派神道……………242

すり替えすりかえられていない大矢田おやだ、加茂神社かも……………244

真実まことの氏神うぢがみは宗教ではなく道德とく徳です……………245

飛驒の先進性の証明……………	247
日本本土に哺乳類の総先祖が住んでいた……………	247
大和民族は日本国土にわいた民だ……………	247
西洋の宗教と日本の宗教の違い……………	248
飛驒に全国の半数以上出土した石冠……………	250
石冠で証明された飛驒の精神文化……………	251
更に御物石で証明された飛驒の先進性……………	253
飛驒に全国の半数出土の御物石……………	255
心理的共通性から個性を尊重せよ……………	255
飛驒の神秘憧憬と民族の移動……………	257
橿原の邸を守った飛驒の男女……………	260
大和朝廷を守った飛驒の人々……………	260
飛驒のヤマモトがヤマトになった……………	262
飛驒国府町一の宮の古鏡の謎など?……………	263

A	飛騨高天原の延長国府！	263
B	飛騨へ大鉄鏡が入る理由の推定	264
C	神武の橿原の都近くに飛騨の乗鞍岳と丹生川がある	265
	飛騨文化揺籃の地と荒城神社について	267
	新潟県にある斐太神社	271
	飛騨を懐かしんで祭った新潟の斐太神社	273
	斐太村斐太神社の祭神について	274
	籠峰遺跡の石冠と新潟の文化	277
	古代日本人の世界観について	279
	『古事記』はキリスト教的創造主を否定する	279
	『古事記』は自然の法則を神格化する	280
	『古事記』の中に六次元論の原型らしいものあり	281
	日本の古代人は言揚げしなかった	283

	25
『聖書』の世界観……………	287
『聖書』はなぜ残酷な魔女狩りをしたか？……………	287
人を神から引き離している『聖書』……………	289
スクリーンに映った像を実在と信ずる人……………	290
なぜ肉食人類は二律背反になるか……………	291
盛気楼 <small>しんきろう</small> の大学を創立して喜ぶ人々……………	292
26	
ギリシヤ古代人の世界観……………	294
二律背反 <small>にりつはいはん</small> のはつきり出ている西洋思想……………	294
唯物と唯心の二律背反 <small>にりつはいはん</small> に陥る……………	294
禁欲 <small>きんよく</small> と快楽 <small>かいろく</small> 二律背反 <small>にりつはいはん</small> の迷路 <small>めいろ</small> へ……………	295
	283
	285
世界にただ一つしかない日本の国民道徳……………	
日本古典の立場を受け継ぐ六次元論……………	

カントでさえも二律背反の迷路へ……………	296
ヘーゲルとマルクスの二律背反の誤謬……………	297
唯心の迷妄の危険について……………	300
聖書道徳と日本道徳の違い……………	301
日本人は平和愛好の国民である……………	303
六次元論から日本道徳を見る……………	305
見る立場によって変わる世界人生観……………	305
インドの聖者の示した真理……………	305
ハイゼンベルグの不確定性原理はリグ・ヴェーダの中にあった……………	306
六次元弁証法で神秘現象は解ける……………	307
六次元弁証法は密教の中にあった……………	309
迷いの四律背反と二律背反……………	309
四律背反のマンダラの図……………	310

唯物論的思考の迷妄……………	311
四面から眺めた公平の原理……………	311
皇室儀式と宗派神道と混同してはならぬ……………	312
正当防衛か、侵略か大東亜戦争？……………	314
東洋を狙う侵略国の牙……………	314
侵略におびえた日本……………	315
満州事変が起きた背景……………	316
大東亜戦争を仕掛けた者は日本ではなかった……………	317
日本は立ち上がらざるを得なかった……………	320
子孫のために事実を伝えねばならぬ……………	321
ハワイ襲撃前に米国は日本を襲撃した……………	322
天皇は戦争を食い止められたか……………	327
日本の戦いは東洋の諸国を独立させた……………	328

日本は敗北にあらず……………329

侵略を食い止めて下さった方々に感謝する……………332

靖国参拜は国民道徳である……………334

氏神様は宗教ではない……………335

動機的に正当防衛、部分的近視眼的に見れば侵略と誤解される大東亜戦争……………336

29 天皇の御心と国民の心……………337

30 今後、天皇についてどう考えたらよいか……………341

日本国憲法には天皇制なし……………341

象徴としての天皇を否定するのはなぜか……………341

侵略におびえた先輩の労苦を思う……………343

骨なし忘恩の指導者を悲しむ……………344

主権在民、象徴天皇、自衛を貫け……………345

平和の中で研究できることを感謝する	346
A 現代医学はどう改革したらよいか	346
B 理論物理学を指導する哲学はない	347
新民主主義の原理を提唱する	348
平等から公平へ	348
A 本家と分家の愛情関係は封建制ではない	352
B 悪平等に墮落した平等	354
自由から節田へ	357
報道に高い倫理を望む	358
A 福来博士の念写発見への妨害捏造事件	358
B 現代はどうか	360
基本義務を提唱する	361
博愛から仁愛へ	363

参考文献	374
32 世界永久平和論	368
節田、公平、仁愛、義務の新民主主義のすすめ	364
新民主主義人類永遠発展マンダラ	366
現行民主主義人類滅亡マンダラ	367